

「がんセンター新潟病院における過去 10 年間の皮膚外科外来手術についての後ろ向き解析」  
に関する情報公開

## 1. 研究の対象

2016 年 1 月 1 日から 2026 年 12 月 31 日までの間に、新潟県立がんセンター新潟病院皮膚科で外来皮膚外科手術を受けられた患者さんを対象とします。

ただし、入院手術として施行された症例、皮膚科外来処置室で行われた生検・切開排膿・処置など本研究で対象とする外来皮膚外科手術に該当しない症例、ならびに主要な診療情報が著しく欠落している症例などは除外します。

## 2. 研究目的・方法

当院皮膚科では、良性腫瘍から悪性腫瘍まで幅広い皮膚外科手術を行っており、近年は高齢の患者さんや併存症を有する患者さんの増加に伴い、外来手術の需要が高まっています。一方で、手術室の利用枠や人的資源には限りがあるため、効率的かつ安全な手術運営が重要な課題となっています。

本研究の目的は、当院皮膚科で過去 10 年間に施行された外来皮膚外科手術について、患者さんの背景、疾患の種類、手術時間などを後ろ向きに解析し、手術時間に関連する因子を明らかにすることです。さらに、外来手術を効率的かつ安全に実施するための課題を明らかにし、今後の手術枠運用や診療体制の改善に役立てることを目的としています。

研究は、通常診療の過程で作成された電子カルテ、手術記録、病理記録、手術室記録などを用いて行います。新たに検査や処置をお願いすることはなく、患者さんに追加の負担や不利益は生じません。収集した情報は匿名化したうえで解析し、個人が特定されないように十分配慮します。

## 3. 研究期間：実施許可日～2027 年 3 月 31 日まで

## 4. 研究に用いる試料・情報の種類

この研究では試料は用いず、診療情報のみを用います。主な項目は以下のとおりです。

患者背景：手術時年齢、性別

疾患情報：病名、良性・悪性の別

手術関連情報：手術施行日、手術部位、手術時間、麻酔法、術式・再建法の概要

周術期情報：入院・外来の別、必要に応じて術後合併症の有無

その他、手術運用の検討に必要な項目

## 5. 研究組織

新潟県立がんセンター新潟病院 皮膚科  
関太樹、須田有裕子、結城明彦、高塚純子、竹之内辰也

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

新潟県立がんセンター新潟病院 皮膚科  
当院研究責任者：関 太樹  
連絡先：新潟市中央区川岸町2丁目15番地3  
TEL：025-266-5111